

重点プロジェクト

重点プロジェクトとは

刻々と変化する社会経済情勢のもとで、これまでのまちづくりを継承しつつ、住民一人ひとりの豊かな生活を実現していくため、優先的に取り組むべき施策を重点プロジェクトとして位置付けます。

この重点プロジェクトは、後期基本計画で展開される行政分野別の施策の体系とは別の視点から重要な施策を取り上げたもので、基本計画の体系を縦軸とすれば、それらを横に貫く横断的な施策といえます。

重点プロジェクトと重点施策を構成する個々の施策については、後期基本計画のなかで詳細に展開されています。そのため、ここでは重点プロジェクトと重点施策について、記述しています。

■重点プロジェクトと重点施策に連なる施策の一覧

1. 「協働のまちづくり」推進プロジェクト	
(1) 自然と歴史にはぐくまれた環境	海・海岸・川の保全
	地域資源を生かした生活文化の継承と創造
	緑の保全
	廃棄物の処理・再資源化の推進
(2) 心の豊かさを享受する芸術文化	公害の防止
	芸術・地域文化の振興
(3) 地域に活力を与える産業	地域資源を生かした生活文化の継承と創造(再掲)
	観光資源の発掘とネットワーク化
	農業の振興
	商業の振興
	漁業の振興
	マリレジャー産業の振興
	ニュービジネスの創出
(4) 地域をともに支える新たな体制づくり	海・海岸・川の保全(再掲)
	地域活動の活発化と連携の促進
	公園・緑地の整備
	町民参加・参画の推進
	湘南国際村の活用

2. 「よみがえれ故郷の森・川・海」推進プロジェクト	
(1) 生活環境の保全	廃棄物の処理・再資源化の推進(再掲)
	公害の防止(再掲)
	下水道の整備
	地球温暖化対策・省エネルギーの推進
(2) 美しい海岸の保全と美化	海・海岸・川の保全(再掲)
	生涯学習を支援する基盤の整備
(3) 河川の水質浄化と親水空間づくり	下水道の整備(再掲)
	海・海岸・川の保全(再掲)
	河川・橋りょうの整備
(4) 防災機能の充実	河川・橋りょうの整備(再掲)
	防災体制の確立
	市街地の整備
	道路の整備
	地域福祉の充実
(5) みどりとの共生	緑の保全(再掲)
	公園・緑地の整備(再掲)
	農業の振興(再掲)
	漁業の振興(再掲)
3. 「人が育ち、人が生きる葉山」推進プロジェクト	
(1) 安全に安心して暮らせるしくみの確保・充実	地域医療の充実
	交通安全対策の確立
	地域保健活動の充実
	高齢者福祉の充実
	障害者(児)福祉の充実
	児童・子育て家庭の福祉の充実
	人権意識の高揚、男女共同参画社会の実現
	防犯体制の確立
	国民健康保険・後期高齢者(長寿)医療の充実
	地域福祉の充実(再掲)
(2) 地域に開かれた学校づくり	生涯学習を支援する基盤の整備(再掲)
	豊かな自己実現力(生きる力)をはぐくむ学校教育の推進
	幼児教育、青少年健全育成の推進
	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
(3) 青少年健全育成の推進	幼児教育、青少年健全育成の推進(再掲)
	豊かな自己実現力(生きる力)をはぐくむ学校教育の推進(再掲)
	芸術・地域文化の振興(再掲)
	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進 (再掲)
	地域活動の活発化と連携の促進(再掲)
(4) 高齢者をはじめとした地域人材の積極的な活用	生涯学習を支援する基盤の整備(再掲)
	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進(再掲)
	地域活動の活発化と連携の促進(再掲)
(5) 国際化・情報化に対応できる人材の育成	国際交流の推進
	生涯学習を支援する基盤の整備(再掲)
	湘南国際村の活用(再掲)
	姉妹都市交流

1. 「協働のまちづくり」推進プロジェクト

— 葉山の生活文化を継承し創造する協働のまちづくり —

今も昔も変わらない海や山里の日常的で素朴な生活と別荘文化が融合する空間・時の流れ・営みのなかで、葉山特有の街並みといった景観や産業、芸術文化などが有機的につながり、私たちの生活を豊かなものにしてきています。

こうした生活文化を継承し創造するために、町民と行政とがお互いに知恵を出し合い、協働を合言葉に進めるまちづくりを推進するプロジェクトです。

重点施策

(1) 自然と歴史にはぐくまれた環境

葉山は、美しい自然に恵まれ、自然と一体となって歩んだ歴史があります。この自然と人間が一体となった歴史にはぐくまれた空間を未来へ継承し、残された資源の保全や活用を進めます。

(2) 心の豊かさを享受する芸術文化

葉山は、緑濃い山々と紺碧の海に囲まれ、歴史と文化の香り漂う街並みがあるとともに、文化施設の集積によって新たな芸術文化の拠点となりうる環境があります。こうした恵まれた地域のなかで、生活にうるおいとやすらぎを与えてくれる芸術文化の振興に努めます。

(3) 地域に活力を与える産業

葉山は、煙突のない町として知られる一方で、豊かな自然に恵まれ、海産物や農産物をはじめ、葉山ブランドを冠した特産品が数多く誕生しています。葉山の生活環境との調和を図りつつ、地域に活力を与える産業や海の施設の整備など環境の創造に努めます。

(4) 地域をともに支える新たな体制づくり

急速に移り変わる時代の流れのなかで、多様化する住民の価値観やニーズに応えるため、さまざまな地域資源の保全・再生・活用を通じて、町民活動団体やNPO法人との連携を図りつつ、協働によるまちづくりを推進することに努めます。

2. 「よみがえれ故郷の森・川・海」推進プロジェクト

—自然との共生と環境の保全を実現するまちづくり—

降った雨が森に蓄えられ、多くの命をはぐくみながら集まって川となり、海へ流れ込み、美しい海と豊かな海の恵みをもたらしています。こうした自然の循環・命の営みを深く考え、里山の保全、河川の水質浄化、海岸の美化、美しい海の保全など、自然環境を守りつつ、防災的な観点からも自然との共生をめざすプロジェクトです。

重点施策

(1) 生活環境の保全

安全で安心な生活環境をめざして、環境への負荷を軽減するために、ごみの減量化とリサイクルを推進するとともに、環境にやさしいまちづくりをめざします。

(2) 美しい海岸の保全と美化

美しい海岸を保全し、美化活動を推進します。また、海・海岸・川の保全については、生涯学習を通じて啓発します。

(3) 河川の水質浄化と親水空間づくり

公共下水道整備を推進して河川の水質浄化を図ります。また、海や川の水環境を浄化して、アユやホタルの生息するまちをめざします。

(4) 防災機能の充実

自然災害を未然に防ぐのは難しいことです。しかし、被害を最小限にとどめることは可能です。このような観点から災害に強い都市基盤の整備、安全な市街地の形成などとともに、情報・人的ネットワークに重点をおいた防災体制の強化を図ります。

(5) みどりとの共生

多様な生物の生息域であり、人々の憩い・癒しの場でもある里山や農地を中心に、公園・緑地などのみどりを含めた環境の保全に努めます。また、農漁業については、産業としてのみならず、自然環境保全の視点からもその振興を図ります。

3. 「人が育ち、人が生きる葉山」推進プロジェクト

—心ふれあいすこやかに安心して暮らせるまちづくり—

少子・高齢化社会にあって、次代を担う子どもたちが未来に夢を持ちながらすこやかに成長できる地域社会が、また、温かな思いやりや生き活きとした社会環境が、形成されることが大切です。こうした環境を築くため、自然や文化といったさまざまな地域資源や人材を活用し、やさしい心と自ら考え行動するたくましさをもった子どもたちを育てるとともに、高齢者が生き活きと輝き、生涯学習、スポーツ、ボランティア活動などを通して豊かな人間関係を醸成しながら安全な環境のなかで安心して暮らせるまちをめざすプロジェクトです。

重点施策

(1) 安全に安心して暮らせるしくみの確保・充実

誰もが安全に安心して暮らせるよう交通安全、防犯体制、権利擁護に力を入れるとともに、保健・医療・福祉サービスの連携を強化し、充実を図ります。

(2) 地域に開かれた学校づくり

家庭における教育力の充実（しつけ）を促進します。また、学校施設を地域へ開放するとともに、学校教育に地域の人材を活用し、学校と地域の人々との交流を深め、開かれた学校づくりを進めます。

(3) 青少年健全育成の推進

次代を担う青少年が心身ともに健康に成長できるよう、青少年活動、子ども会活動などの充実・支援を推進するとともに、ボランティア活動など自ら進んで社会参加できる機会の拡充に努めます。

(4) 高齢者をはじめとした地域人材の積極的な活用

生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動、コミュニティ・ボランティア活動などを通じて、世代の違いを越えた交流を促進するとともに、高齢者が蓄積した豊かな経験を生かす機会と場の確保を進めます。

(5) 国際化・情報化に対応できる人材の育成

国際交流や情報通信技術にかかわる生涯学習活動を充実し、国際化や情報化に対応できる人材の育成を図ります。また、姉妹都市との交流を通じた異文化理解と友好親善に努めます。